

(一般質問)

質問日	令和5年12月1日(金)			質問方式	分割方式		
質問順位	5	会派名	日本共産党浜松市議団	議席番号	7	氏名	小黒 啓子
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 PFAS対策について	<p>PFASは、有機フッ素化合物の総称であり、永遠の化学物質(フォーエバーケミカル)と呼ばれ、一度体内に吸収されると人体に蓄積し、がんの発生や低出生体重児等の影響があることが指摘されている。</p> <p>そこで、本市における河川・水路において暫定指針値を超えるPFASが検出され、特に、航空自衛隊浜松基地に近接する北部承水路からは指針値の28倍に当たる高い数値が検出されていることについて、また、市内の井戸水からも指針値を超えるPFASが検出されていることも含め、市民の不安払拭と健康を守るために以下伺う。</p>						
(1) 航空自衛隊浜松基地への調査について	(1) 会派で航空自衛隊浜松基地へ要請書の提出を行った際に、消火訓練場近辺の土壌調査等、また、泡消火剤のこれまでの使用履歴、排水経路等については、市と相談して検討すると答えている。緊急に基地内の調査を実施すべきと考えるがどのような状況か伺う。						中野市長
(2) 基地周辺住民への対応について	(2) 基地周辺の井戸水から基準値を超えてPFASが検出されているが、どの地域でどのような対応がされているか伺う。						山田環境部長
(3) 健康調査について	(3) 市民から血液検査などの希望がある場合は、適切に対応すべきと考えるがどうか伺う。						平野医療担当部長
2 新野球場建設について	<p>県が西区篠原地区に建設を計画している県営野球場について、「新野球場建設促進期成同盟会」は北海道のスポーツ施設の視察を実施した。</p> <p>市民からは、「ドーム球場ではなく、誰でも安価で使用できる野球場を」また、「四ツ池公園の市営球場を残してほしい」等の声もあり、県からは令和6年2月に県営野球場の素案が出されることになっている。</p> <p>そこで以下、新野球場建設に関連して伺う。</p>						
(1) 期成同盟会の北海道視察について	(1) 建設予定地の篠原地区と視察地区とは地域環境の違いがあることをはじめ、施設の規模も環境も違いすぎると考えるが、期成同盟会の視察としてどうであったのか伺う。						中野市長
(2) 「指定希少野生動植物」について	(2) 新野球場建設予定地近隣はアカウミガメの産卵地域があり、静岡県希少野生動植物保護条例では、「人と野生動植物とが共生する豊かな自然を県民共有の貴重な財産として次代に継承する」ことが目的として規定されている。また、県の環境事前調査も不十分であると言われていた中で、希少野生動植物の保護について、本市の						山田環境部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	考えを伺う。	
<p>3 大河ドラマ館の今後について</p> <p>(1) 新施設の規模について</p> <p>(2) 展示・収蔵の考えについて</p>	<p>9月議会では大河ドラマ館は「すべてを取り壊して新たな施設を整備することは想定していない」という答弁があった。第1回徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設整備検討委員会では、収蔵施設の企画提案説明書が提示されたが、そこでは、「仮設建築物から常設建築物への変更に関する課題を整理する」としている。</p> <p>(1) 約2万5000点の財団の貴重な所蔵品を守る堅牢な施設を造るとしているが、9月議会答弁との整合性が取れるか伺う。</p> <p>(2) 特定の財団の所有物を長期にわたり、展示・収蔵する施設の設置を税で賄うことは市民の理解を得られると考えるか。また、徳川記念財団の所蔵品のうち、どのようなものを本市で扱うようになるのか年度内に確定できるのか。さらに、展示・収蔵にかかる費用負担をどのように見込んでいるか伺う。</p>	石坂企画調整部長
4 救急体制のDX化について	<p>令和4年度決算で市内の救急自動車による1件当たりの病院収容時間は平均で43.77分となった。</p> <p>情報をアナログ・リレー方式で伝達している救急活動においてリアルタイム共有方式を導入することで、病院収容時間の短縮が可能である。また、現在全国の各地でリアルタイム共有方式に関する実証実験が実施され、実際に実装している自治体もある。</p> <p>本市においても、救急活動全般のDX化を進める必要があると考えるが、現状と今後の在り方について伺う。</p>	太田消防長
<p>5 航空自衛隊浜松基地のある本市として</p> <p>(1) 自衛隊への情報提供について</p> <p>(2) エアフェスタについて</p>	<p>自衛隊基地が市街地の中に存在することで、騒音問題をはじめとして、様々な不安が市民の暮らしに影響している。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 自衛隊静岡地方協力本部から市に対して、満18歳になる男子及び女子の郵便番号と住所氏名を、紙媒体（ラベル印字）にて提出希望日までに提出するよう要請が来る。今年は初めて、提供除外を希望する市民の情報は除くとあり、本市で初めて除外の申し出を受けるようになった。来年以降の除外申し出の受付期間についてどのようにするのか、また、周知の方法についてどのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 基地周辺住民から、「エアフェスタの練習や当日のジェット機の音が激しく眠ることもできない」「ブルーインパルス曲技飛行は、以前のような墜落の危険がありとても怖い」等の声が寄せられている。エアフェスタ当日、高丘西で騒音測定をしたところ106デシベルであつ</p>	<p>田中総務部長</p> <p>山名副市長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(3) 小・中学校体育館への空調整備について</p> <p>(4) 土地利用規制法（重要土地等調査法）について</p>	<p>た。</p> <p>そこで、市民の安全を守るために、エアフェスタを実施させないこと、実施するとしてもブルーインパルスの曲技飛行は実施しないことを航空自衛隊浜松基地に申し入れる考えはないか伺う。</p> <p>(3) 防音工事対象の小・中学校体育館は、その多くが避難所に指定され、防災の拠点となっている。また、近年の気温上昇に対応した教育環境を整える必要からも、体育館に空調設備を整備する必要があると思うが、考えを伺う。</p> <p>(4) 航空自衛隊浜松基地が静岡県内で唯一、土地利用規制法における「特別注視区域」に指定されようとしている。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>ア 特別注視区域に該当する単位自治会はどこになるか伺う。</p> <p>イ 今後、特別注視区域に指定される工程について伺う。</p> <p>ウ 指定された地域の住民に対してどのように周知していくか伺う。</p>	<p>奥家学校教育 部長</p> <p>新谷市民部長</p>
<p>6 新浜松医療センターについて</p> <p>(1) 医療センターの今後について</p> <p>(2) 性的少数者への対応について</p>	<p>2024年1月から浜松医療センターは、新病院が開院する。その後、3号館の工事が始まり、最終的に1、2号館は駐車場として改修され一連の工事が終了する。</p> <p>多くの市民が新病院に期待を抱き、工事中の不便さにも協力をいただいている。予定どおりの600床を堅持して市民に愛される病院とすることが求められると考える。</p> <p>一方で、国は病床削減と病院再編を続行させ、地域医療構想の実現を目指していることから以下伺う。</p> <p>(1) 2019年9月に厚生労働省は「診療実績が少ない」「診療実績が類似する」公立・公的病院を、再編統合の議論が必要な病院として公表している。新病院開設後、診療実績を維持し、さらに実績を伸ばすための方策について伺う。</p> <p>(2) 性的少数者に対する配慮事項について、どのような取組を実践しているか。また、関連する医療従事者の研修についてどのような対応がされているか伺う。</p>	<p>平野医療担当 部長</p>
<p>7 家庭ごみ有料化について</p>	<p>10月に行われた、国連を支える世界こども未来会議 in HAMAMATSU で出された作品では、「雑がみリサイクル」「ゴミから電気」「ゴミ0のまち未来はままつ」等、多くのごみに関するアイデアが出された。子ども達も真剣にごみの削減について考えている。今こそ、行政と市民が一体となって、ごみの削減に取り組む必要がある。</p>	<p>山田環境部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(1) 家庭ごみの有料化について</p> <p>(2) 実証事業について</p>	<p>有料化は手段であって、あくまでも目的はごみの削減であることを忘れてはならないことから以下伺う。</p> <p>(1) 本年5月議会で家庭ごみの有料化については、「本年中を目途に示したい」との市長答弁があった。諸物価や燃料費等の値上げが家計を脅かし、さらには水道料金の値上げまで検討される状況の中、家庭ごみの有料化はきっぱりと取り下げ、市民の暮らしを応援すべきと考えるが、どのようにするつもりか伺う。</p> <p>(2) ごみ減量ガイドブックが全戸配布され、様々な実証事業に取り組んでいるが、どのような状況か伺う。</p>	